WAVIO AV SYSTEM

SE-U55SX

USBデジタルオーディオプロセッサー

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

ご使用になる前に 2
接続する 11
パソコンの設定 16
再生する 22
録音する 36
その他 42

本機の特長

■24ビット/96kHzの信号処理対応＆録音/再生とも高SN比を実現

24ビット/96kHz信号処理に対応し、D/Aコンバータ、A/Dコンバータにそれぞれ専用チップを採用することで音楽再生時のSN比115dB(20-kHz AES17 LPF, A-weighted)を実現。A/DコンバータにはSN比114dBの高性能なサウンドチップを採用し再生音質はもちろん録音時のクオリティも大幅に向上させています。

■ジッター値を大幅に低減する内部水晶クロック同期

従来のUSBオーディオ機器ではパソコンのクロックに同期させていたため信号伝達の時間的ズレで生じるノイズ、ジッター（波形の揺らぎ）値が通常のオーディオ機器の数十倍になっていました。SE-U55SXでは水晶クロックを本体内部に持つことでこのジッター値を大幅に低減、通常のオーディオ機器に匹敵する高品位サウンドを実現しています。

■多彩なオーディオ機器を接続できる豊富な入出力端子とデジタルINオートセレクターの搭載

アナログ入出力はもちろんのこと、デジタル入力3系統、デジタル出力2系統を装備しました。ますます増えるデジタル機器も手軽に接続、多彩なソースをパソコンに録音したり※、パソコンで編集した音楽をオーディオ機器に録音することも簡単です。また3系統のデジタル入力端子から信号を検知して自動的に入力を切り替えるデジタルINオートセレクターを採用しています。

※ SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）対応により著作権保護されたデータの録音はできません。

※ SE-U55SXのデジタル出力からの信号を録音することはできません。

■オーディオセレクターとしても使用できるセルフパワー対応

ACアダプターからの完全セルフパワー給電でノートパソコンでも電源供給の心配をせずに使用できます。さらにはパソコンが起動していなくても他のオーディオ機器と組み合わせてオーディオセレクターとして動作させることが可能です。

■デジタル音楽データの音質を飛躍的に向上するVLSC®

独自開発のVLSC®は、一般的なロー・パス・フィルターでは完全に除去することができなかったパルス性ノイズを全く含まず、滑らかな音楽信号を生成することで、MP3などの圧縮音源はもちろんデジタル音楽の再生音質が飛躍的に向上しています。

■CarryOn Music 10を標準バンドル

従来の楽曲データベース管理や音楽再生、CDリッピング、外部機器からの録音、CD-R/RWライティング機能、PodCast、音楽配信サイトe-onkyomusic.comからの楽曲購入など、パソコンで音楽を楽しむあらゆるシーンに快適に対応する統合型デジタルオーディオソフトです。

- WAVIO（ウェイビオ）、VLSCの名称およびロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。
- Windowsの正式名称はMicrosoft Windows Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows MediaおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- CarryOn Musicの名称およびロゴは、オンキヨー株式会社の商標です。CarryOn Musicは、（株）デジオンと共同開発されたソフトウェアです。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- MusicIDの名称はGracenote社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

♪ 音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

ご使用になる前に

本機の特長 2
目次 4
安全上のご注意 5
箱を開けたら、まず 8
各部の名称と働き 9
前面 9
後面 10

接続する

パソコンの接続を始める前に 11
動作環境 11
本機をお使いいただくにあたって ... 12
接続する 13
USBパソコンオーディオシステム接続例 13
パソコンへ本機を接続する 15

パソコンの設定

パソコンの設定 16
ドライバのインストールを確認する ... 16
オーディオデバイスを確認する 17
音楽CDを再生するための設定をする 19
ボリュームコントロールの設定 20

再生する

入力切り替えスイッチ（INPUT）の使い方 22
接続している機器の音声を楽しむ 23
デジタル入力に接続されている機器の音声を楽しむ 23
アナログ入力に接続されている機器の音声を楽しむ 23
パソコンに保存した音楽ファイルを聞く 24
付属のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする 25
CarryOn Music 10をインストールする 25
QuickTimeをインストールする 29
再生のしかた 32
CarryOn Music（キャリオン・ミュージック）について 32
CarryOn Musicの設定 32

録音する

録音のしかた 36
マイクやライン入力のアナログ音声をパソコンに録音する 36
CDやMDのデジタル音声をパソコンに録音する 38
録音についてのご注意 40

その他

コピーガードシステムについて ..42
故障かな?と思ったら 43
修理について 46
お客様ご相談窓口 46
主な仕様 47

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⃠記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにACアダプターを抜く

ACアダプターをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面から2cm以上、背面から5cm以上のスペースをあける）
- 逆さまにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

⚠警告

ACアダプターに関するご注意

■ ACアダプターのコードを傷つけない

禁止

- ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターのプラグは定期的に掃除する

必ずする

ACアダプターのプラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

■ ACアダプターに布や布団をかぶせない

禁止

熱がこもり火災の原因となります。

使用上のご注意

■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機の通風孔から異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、ACアダプターのプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

ACアダプターに関するご注意

■ 表示された電源電圧で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターのコードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプターのプラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■ 長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜く

ACアダプターをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

⚠注意

■ ACアダプターのプラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際はACアダプターを抜く

ACアダプターをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■ 通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■ 音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■ 長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動時のご注意

■ 移動時はACアダプターや接続コードをはずす

ACアダプターをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

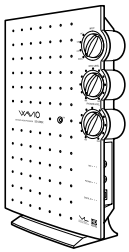
■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

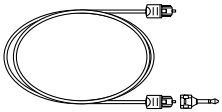
箱を開けたら、まず

ご使用の前に箱の中身をお確かめください。［ ］内の数字は数量を表しています。

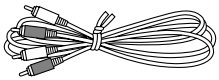
・SE-U55SX（本体）［1］



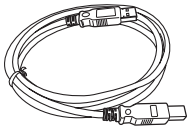
・光デジタルケーブル（1.0 m）［1］
・ミニジャックアダプター［1］



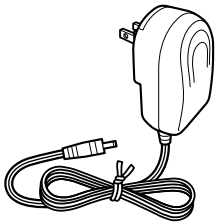
・オーディオ用ピンコード（0.8 m）［1］



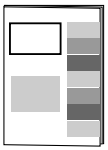
・USBケーブル（1.0 m）［1］
パソコンと接続するケーブルです。



・ACアダプター［1］



・CarryOn Music取扱説明書［1］



・CD-ROM［1］

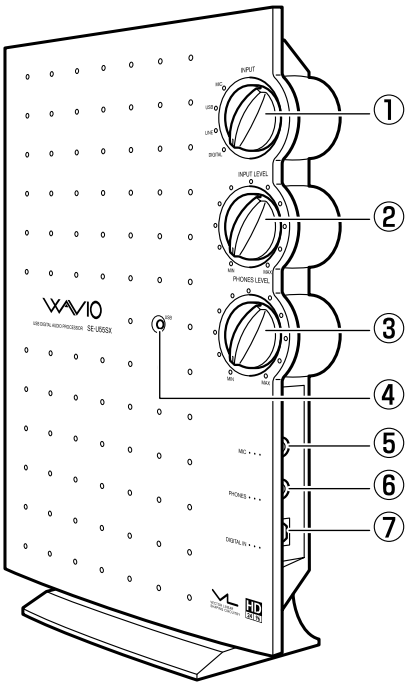
※ CD-ROMを開封する前に、必ず「CarryOn Music取扱説明書」の「ソフトウェア使用許諾契約について」のページをお読みください。

・取扱説明書（本書）［1］
・オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内［1］
・保証書［1］
・ユーザーカード［1］

※ カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。

各部の名称と働き

前面



① 入力切り替えスイッチ（INPUT）

USB：USB接続しているパソコンの音声を再生するときにこの位置にします。

DIGITAL（デジタル）：DIGITAL IN端子に接続した機器の音声を再生するときや録音するときにこの位置にします。

LINE（ライン）：ANALOG LINE INに接続した機器の音声を再生するときや録音するときにこの位置にします。

MIC（マイク）：MIC端子にマイクを接続してパソコンに音声を録音するときにこの位置にします。

② 入力レベル調整つまみ（INPUT LEVEL）

録音するときに入力レベルを設定します。

③ ヘッドホンレベル調整つまみ（PHONES LEVEL）

ヘッドホンを接続しているときにヘッドホンの音量を調整します。

④ USBインジケーター（USB）

消灯
本機の電源が入っていない状態です。

オレンジ色に点灯
本機の電源は入っていますが、USB接続がされていない状態、またはUSB接続しているパソコンの電源が入っていない状態です。本機単独での使用は可能です。

緑色に点灯
本機およびUSB接続しているパソコンの両方の電源が入っている状態です。

緑色とオレンジ色が交互に点灯
本機およびUSB接続しているパソコンの両方の電源は入っていますが、現在の入力切り替えスイッチ（INPUT）の位置では使えない状態です。一度、電源スイッチをオフにするか、USBケーブルをはずしてください。

ご注意

電源スイッチをオフにしたときは、2秒ほど待ってから電源スイッチをオンしてください。

⑤ マイク入力端子（MIC）

モノラルミニプラグのマイクを接続します。

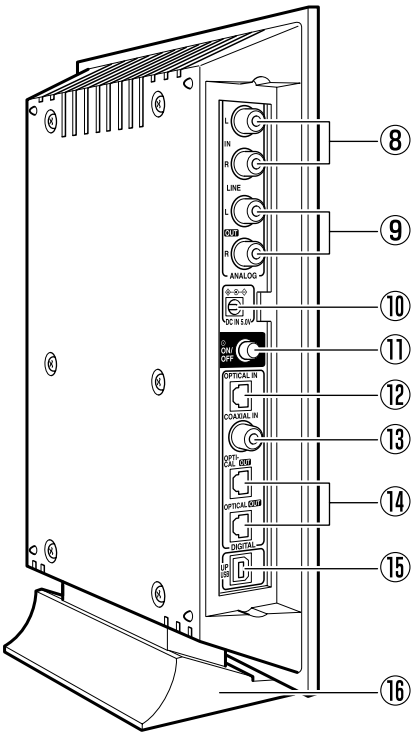
⑥ ヘッドホン端子（PHONES）

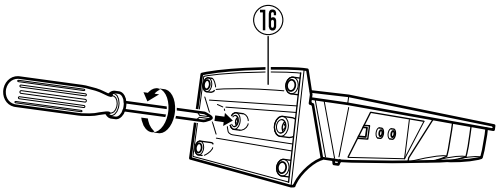
ステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。

⑦ デジタル光入力端子（DIGITAL IN）

ポータブルCDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続します。

後面





⑧ ライン入力端子
（ANALOG LINE IN L/R）

カセットデッキやフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなど、オーディオ機器のアナログ出力を接続します。

⑨ ライン出力端子
（ANALOG LINE OUT L/R）

アンプ内蔵スピーカー等を接続します。

⑩ DC IN端子（DC IN 5.0V）

付属のACアダプターを接続します。

⑪ 電源スイッチ
（ON ▂/OFF ■）

本機の電源を入/切します。

⑫ デジタル光入力端子
（DIGITAL OPTICAL IN）

CDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続します。

⑬ デジタル同軸入力端子
（DIGITAL COAXIAL IN）

CDプレーヤーなどの同軸デジタル出力を接続します。

⑭ デジタル光出力端子
（DIGITAL OPTICAL OUT）

AVアンプまたはデジタル入力端子付アンプ内蔵スピーカーなどの光デジタル入力を接続します。

⑮ USBアップポート（UP USB）

パソコンのUSB端子と接続します。

⑯ スタンド

本機を縦置きするときに使います。本機を横置きするときは、底部のねじ（2箇所）をはずしてスタンドを取り外してください。

パソコンの接続を始める前に

動作環境

対応機種
USB規格Rev.1.1に準拠したUSBポート標準装備のパソコン/AT互換機（Intel製USBホストコントローラー推奨）
本機は24ビット/96kHzに対応しているため、USBバスの帯域を広く使用します。USBケーブルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。

OS（32ビット版）
Windows Vista®、Windows® XP* SP2以降日本語版
* システム管理者権限（Administrator）でのみ使用可能です。
※64ビット版には対応していません。

※2007年10月現在 オーディオデバイスをMicrosoft® Windows Vista®に接続した際、信号レベルが0dB付近において不具合が生じることが報告されています。本機種においても同様の不具合が生じることを確認しています。この問題について詳しくは弊社ホームページ（http://onkyo.jp/wavio/support/winvista.htm/）にてご確認ください。

CPU（32ビット（x86）または64ビット（x64）のプロセッサ）
Windows Vista　1GHz以上
Windows XP　800MHz以上

ハードディスク必要容量
付属のソフトウェアのインストール時 200MB以上
※音声のデータサイズが大きいため、作業領域と保存用に数百MBの空き容量のあるハードディスクをお勧めします。
※お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は多少異なります。

メモリ
Windows Vista　1GB以上
Windows XP　256MB以上

画面
1024×768ピクセル以上、16ビット以上（32ビット推奨）

必要周辺機器
CD-ROMドライブ（または相当品）+ハードディスク
CD-ROMドライブは付属のソフトウェアをインストールするために必要です。

その他
インターネット アクセス機能（CarryOnのアップデートに必要）

Windowsについて
Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

必要な動作環境を満たすパソコンであっても、パソコンシリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本製品の動作が正常に行われない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は、弊社ホームページ（http://onkyo.jp/wavio/）にてご確認ください。

パソコンの接続を始める前に

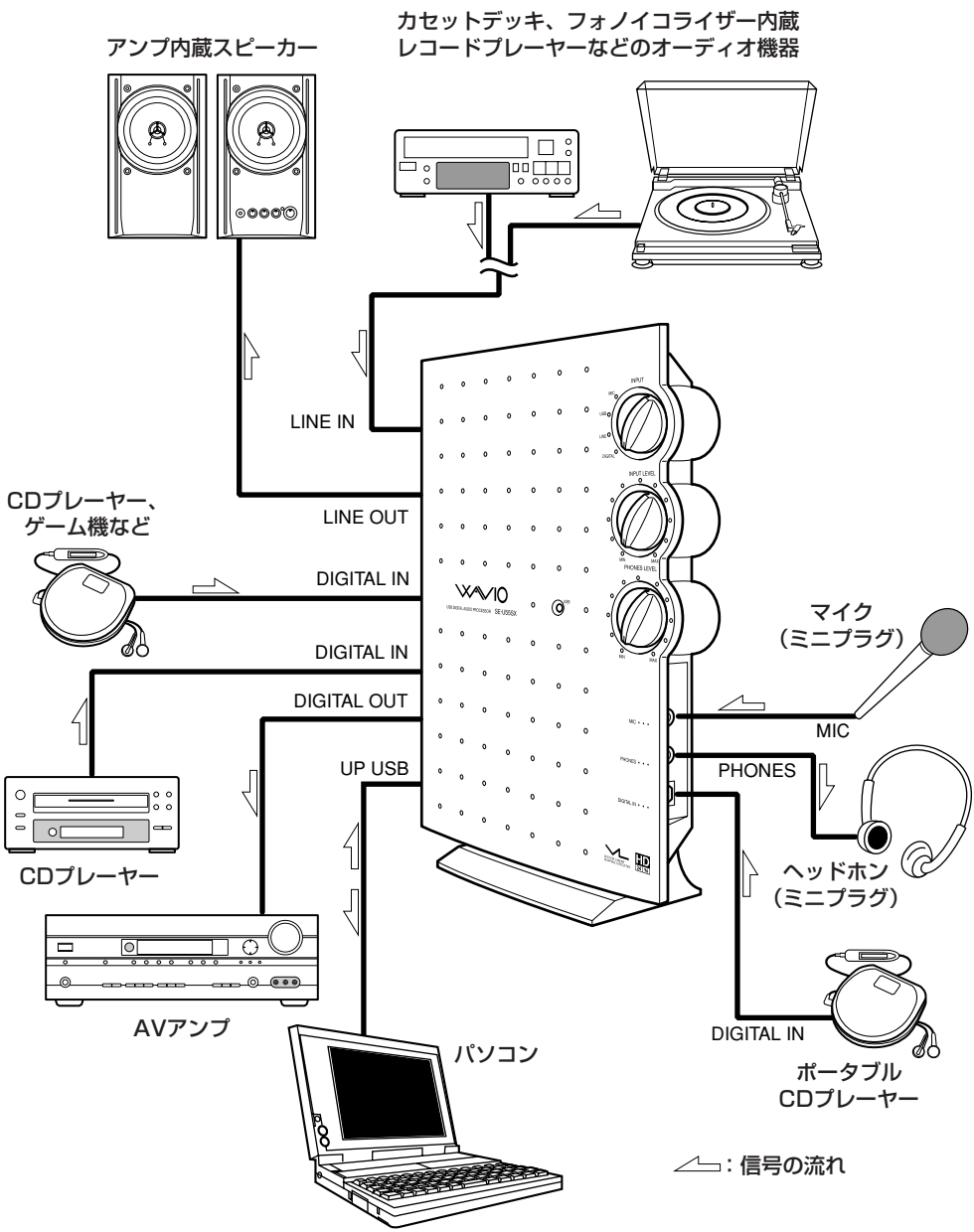
本機をお使いいただくにあたって

本機をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

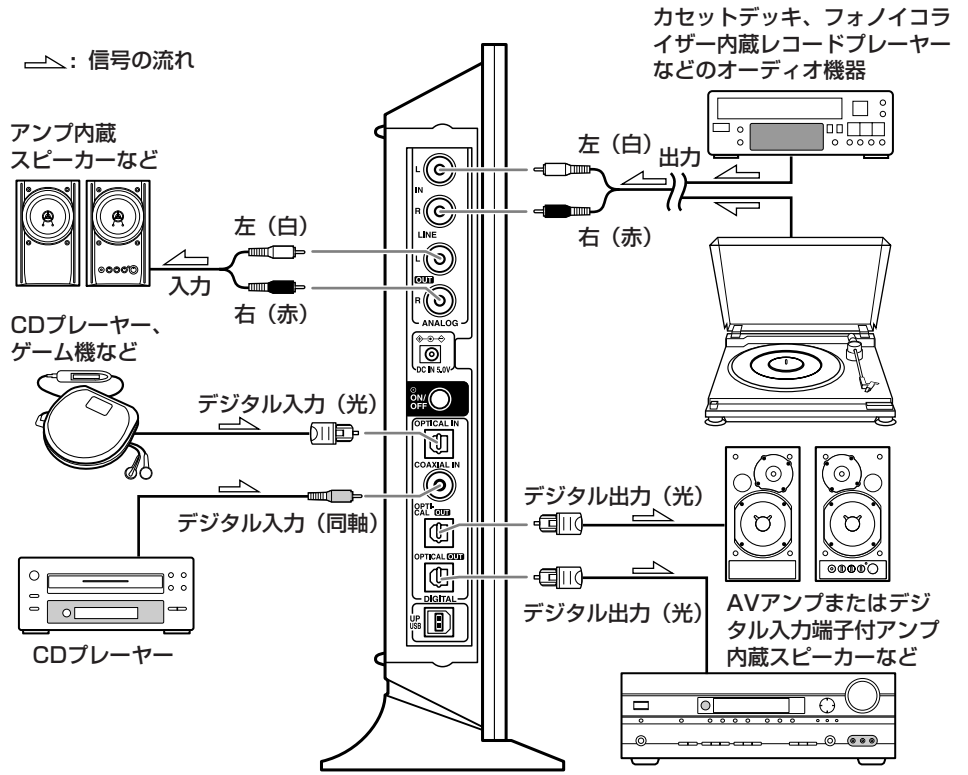
- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本機を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。

接続する

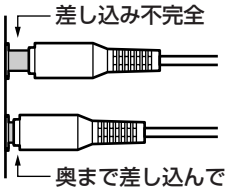
USBパソコンオーディオシステム接続例



接続する



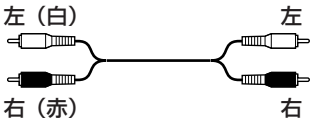
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



- デジタル端子にはキャップは付いていません。（シャッタータイプですので、フタをそのまま奥へ倒すようにまっすぐに光デジタルケーブルを差し込んでください。ななめに差し込んだり抜いたりすると、フタが破損することがありますのでご注意ください。）

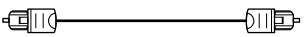
接続図では、使用する接続コードを次のように示します。

オーディオ用ピンコード（RCAタイプ）



同軸デジタルケーブル

光デジタルケーブル



パソコンへ本機を接続する

1. 付属のACアダプターを本機に接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

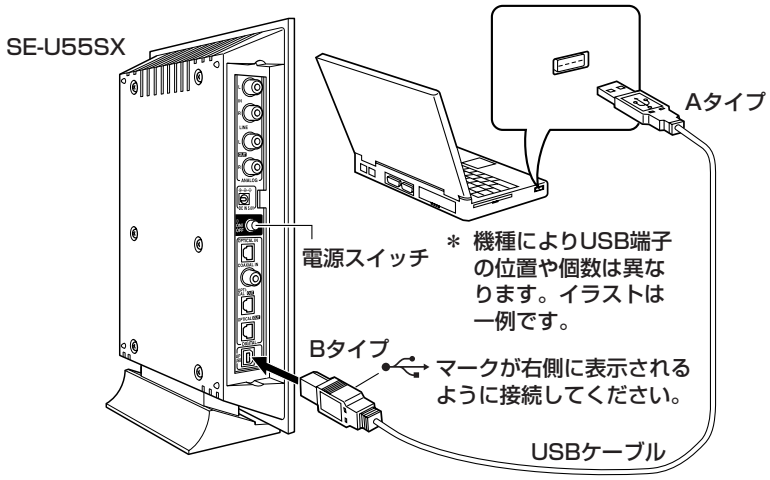
ご注意

付属のACアダプターは本機専用です。他の機器には絶対に使用しないでください。また、付属のACアダプター以外のものを本機に使用しないでください。本機の故障や火災の原因になることがあります。

2. 付属のUSBケーブルのAタイプのプラグ（▭）をパソコン本体のUSBポートへ接続します。

♪ヒント パソコンのUSBポートが2個以上ある場合はどのポートに接続しても構いません。

3. Bタイプのプラグ（□）をSE-U55SXのUSBアップポート（UP USB）へ接続します。
4. 入力切り替えスイッチ（INPUT）をMICの位置にします。
5. 電源スイッチをONの位置にします。
6. 入力切り替えスイッチがMICの時のドライバのインストールが始まります。
   OSの指示に従って操作することで自動的にインストールが完了します。
7. 電源スイッチをOFFの位置にします。
8. 入力切り替えスイッチ（INPUT）をUSBの位置にします。
9. 電源スイッチをONの位置にします。
10. 入力切り替えスイッチがUSB/LINE/DIGITALの時のドライバのインストールが始まります。
    OSの指示に従って操作することで自動的にインストールが完了します。



ご注意

端子の抜き差しをする場合にはスピーカーの音量を絞ってください。

パソコンの設定

ドライバのインストールを確認する

1. システムのプロパティからデバイスマネージャを開きます。

＜Windows Vistaの場合＞

1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」を開きます。
2. 「デバイスマネージャ」をクリックします。
3. 「ユーザーアカウント制御」が表示されるので「続行」をクリックします。

＜Windows XPの場合＞

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「システム」をクリックします。
4. 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5. 「デバイスマネージャ」をクリックします。

2. 以下のデバイス名があることを確認します。

＜Windows Vistaの場合＞

「USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ」の「+」をクリックする

- **USB複合デバイス**

「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の「+」をクリックする

- **SE-U55SX Audio**

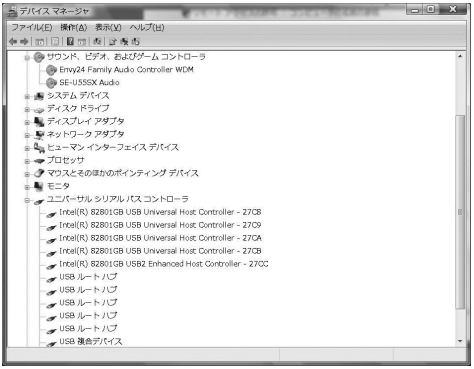
＜Windows XPの場合＞

「USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ」の「+」をクリックする

- **USB複合デバイス**

「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の「+」をクリックする

- **USBオーディオデバイス（USB Audio Device）**



※ **画面は、パソコンの設定や状況によって順番等が異なる場合があります。**

オーディオデバイスを確認する

＜Windows Vistaの場合＞

1. オーディオデバイスを確認するパネルを開きます。
   1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
   2.「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
   3.「オーディオデバイスの管理」をクリックします。
2. 「再生」タブを選択します。
3. 「スピーカー SE-U55SX Audio」にチェックがついていることを確認します。異なる場合は選択し「既定値に設定」をクリックしてください。
4. 「録音」タブを選択します。
5. 「ライン SE-U55SX Audio」にチェックがついていることを確認します。異なる場合は選択し「既定値に設定」をクリックしてください。
6. 「OK」をクリックします。

パソコンの設定

＜Windows XPの場合＞

1. オーディオデバイスを確認するパネルを開きます。

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。
4. 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウを開きます。

2. 「オーディオ」タブを選択します。

3. 「音の再生」と、「録音」の「既定のデバイス」が「SE-U55SX　Audio」になっていることを確認します。異なる場合は変更してください。

4. 「OK」をクリックします。

確認したら、「OK」をクリックして閉じる

音楽CDを再生するための設定をする

この操作は、Windows XPの場合のみ必要です。

1. 「マルチメディアのプロパティ」画面（もしくは「DVD/CD-ROMドライブのプロパティ画面」）を開きます。

1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「システム」をクリックします。
4.「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5.「デバイスマネージャ」をクリックします。
6. 音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを選択します。

ダブルクリック

2.「このCD-ROMデバイスで･･･」にチェックマークを入れます。

3.「OK」をクリックします。

チェックマークを入れる

パソコンの設定

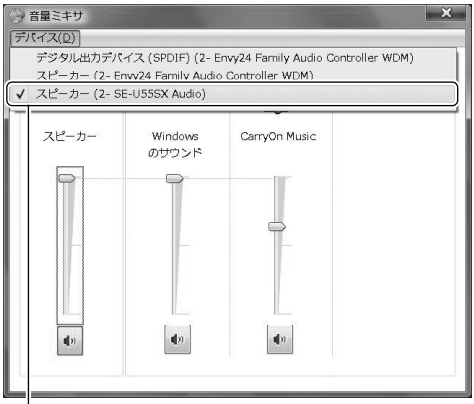
ボリュームコントロールの設定

1. ボリュームコントロールを開きます。

お使いのパソコン環境によっては、ミキサーコントロール等の名前の場合もあります。

＜Windows Vistaの場合＞

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
3. サウンドの「システム音量の調節」をクリックします。
4. 「デバイス」→「スピーカー（SE-U55SX Audio）」を選択します。



SE-U55SX Audioを選択します

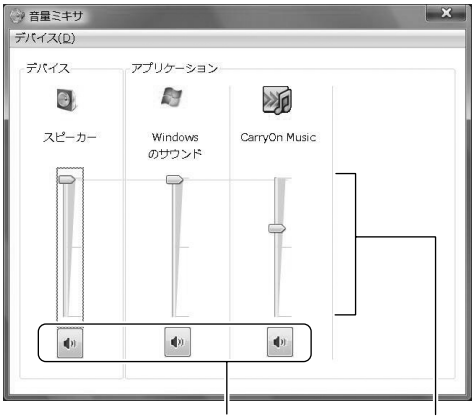
2. 調整します。

①音量スライダー

再生ボリュームをお好みの位置にしてください。

②ミュート

再生の音声を消すときはミュートボタンをクリックしてください。ミュートボタンの表示が に変わります。もう一度クリックすると表示は に戻り再び音声が出力されます。



② ミュートボタン　①

＜Windows XPの場合＞

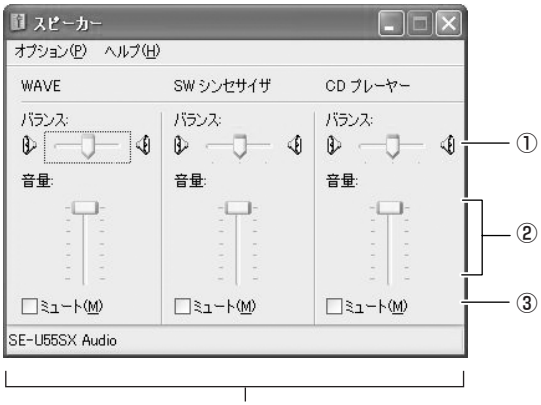
1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。
4.「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで、「オーディオ」タブを選択します。
5.「音の再生」の「音量」をクリックします。

2. 調整します。

①バランス
左右の出力バランスを変更します。

②音量スライダー
再生ボリュームをお好みの位置にしてください。

③ミュート
再生の音声を消すときはチェックボックスにチェックをつけます。



ヒント

- ボリュームコントロールは、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」でも開くことができます。
- 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで、「音量」タブの「タスクバーに音量アイコンを配置する」にチェックを入れると、ボリュームコントロールがタスクバーに表示されるようになります。

入力切り替えスイッチ（INPUT）の使い方

SE-U55SXでは入力切り替えスイッチ（INPUT）を使って、接続された外部機器の再生・録音やパソコン音声の再生を切り替えます。

■ 各ポジションの名称と機能は次の通りです。

	パソコン音声のモニター	外部機器のモニターと録音	サウンド形式
USB	○	×	16bit,24bit/44.1k,48k,96kHz　出力のみ
LINE	×	○（LINE入力のみ）	16bit,24bit/44.1k,48k,96kHz　入力のみ
DIGITAL	×	○（DIGITAL入力のみ）	16bit,24bit/44.1k,48k,96kHz　入力のみ
MIC	○	○（MIC入力のみ）	16bit/48kHz　入出力

ご注意

MIC入力音声はDIGITAL OUT端子からは出力されません。

■ 入力切り替え時のUSBインジケータ点滅について

入力切り替えスイッチを操作した後にUSBインジケータが点滅する場合があります。この現象はUSB/LINE/DIGITAL（24bit/96kHz）のいずれかのポジションからMIC（16bit/48kHz）に切り替えた場合、もしくはその逆の操作を行った場合に起こります。

USB/LINE/DIGITAL →→→ USBインジケータ点滅 →→→ MIC
USB/LINE/DIGITAL ←←← USBインジケータ点滅 ←←← MIC

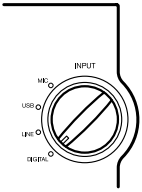
これは入力切り替え後にSE-U55SXのリセットが必要であることを表していますので、USBインジケータが点滅した場合は、SE-U55SXの電源を入れ直すかUSBケーブルの抜き差しをしてください。これによりUSBインジケータは点滅しなくなります。

接続している機器の音声を楽しむ

本機は、パソコンが起動していなくても他のオーディオ機器と組み合わせてオーディオセレクターとして動作させることもできます。

デジタル入力に接続されている機器の音声を楽しむ

1. SE-U55SXに再生機器が正しく接続されているか確認します。
2. INPUTスイッチを「DIGITAL」にします。



本機はデジタルイン・オートセレクター機能を搭載しています。接続された機器の信号を検知して入力を選択します。次の優先順位でデジタル入力が検知されます。

1. 前面パネルのDIGITAL IN
2. 後面パネルのOPTICAL IN
3. 後面パネルのCOAXIAL IN

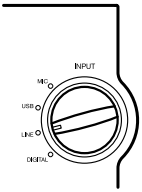
ご注意

接続されている機器が再生してなくても、デジタル信号が出力されていることがあります。この場合、その機器より優先順位の低い端子に接続された機器の音は再生されません。このような場合は、優先順位が高い機器の電源をオフにしてください。

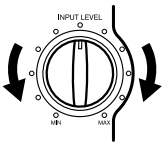
3. 機器の再生を始めます。

アナログ入力に接続されている機器の音声を楽しむ

1. SE-U55SXに再生機器が正しく接続されているか確認します。
2. INPUTスイッチを「LINE」にします。



3. 機器の再生を始めます。
4. INPUT LEVELつまみで音量を調整します。



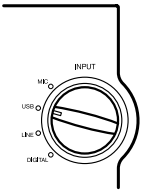
パソコンに保存した音楽ファイルを聞く

1. **SE-U55SXとパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか確認し、電源スイッチをONの位置にします。（→15ページ参照）**

2. **INPUTスイッチを「USB」側にします。**
   正しく接続されていると、SE-U55SXのUSBインジケーターが緑色に点灯します。

   ご注意

   USBインジケータが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。



3. **スピーカーで聞く場合は、SE-U55SXにアンプ内蔵スピーカーを接続します。（→13ページ参照）**
   ヘッドホンで聞く場合は、ヘッドホンをSE-U55SXのPHONES端子に接続します。（→13ページ参照）

   ご注意

   - サウンド機能を実装済みで直接パソコン本体にスピーカーが接続されているような場合、SE-U55SX に入力された音声をそのスピーカーでモニターすることはできません。
   - USB ケーブル以外の接続をするときは、接続する機器の電源を切ってから行ってください。

4. **CarryOn MusicやWindowsに付属のWindows Media Playerなどで再生します。**

付属のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする

CarryOn Music 10をインストールする

付属のCD-ROMに収録されている［ソフトウェアのインストール］を起動して、インストールを行います。
起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、セットアップを開始してください。
※以下ではWindows Vista®を前提に説明します。

1. ［SE-U55SX CD-ROM］をCDドライブにセットします。

自動再生ウィンドウが表示されたら、「menu.exeの実行」ボタンを押してください。
menu画面が表示されます。

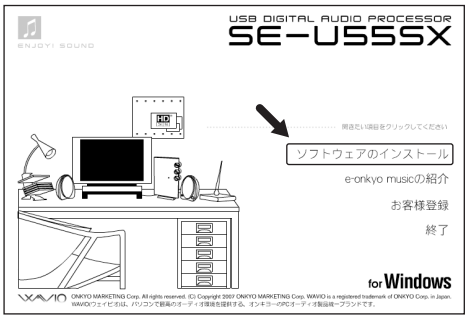
＜Windows XPの場合＞
自動的に画面が表示されます。
画面が表示されない場合は、次の方法で表示させてください。

- SE-U55SX CD-ROM を開きセットアッププログラムを起動する。

1. Windows のエクスプローラを使って、「SE-U55SX」を開きます。
2. 「menu.exe」アイコンをダブルクリックすると、menu 画面が表示されます。

2. 「ソフトウェアのインストール」をクリックします。

「ソフトウェアのインストール」ダイアログボックスが開きます。

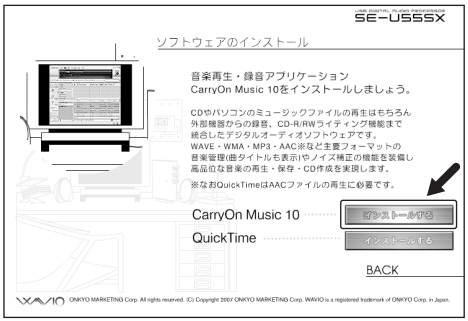


付属のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする

3. 「ソフトウェアのインストール」ダイアログボックスで、[CarryOn Music 10 のインストール]をクリックします。

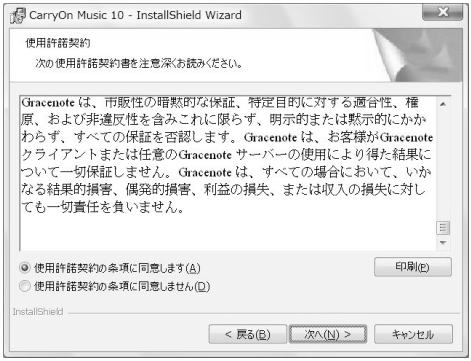
   「ユーザーアカウント制御」が表示されるので「許可」をクリックします。

   ※Windows XPでは「ユーザーアカウント制御」は表示されません。



4. 「ようこそ」ダイアログボックスが表示されますので、［次へ］をクリックします。

5. 「使用許諾契約の確認」ダイアログボックスが表示されますので、内容をよく読み、契約に同意される場合は［使用許諾契約の条項に同意します］のチェックボックスにチェックを入れ、［次へ］をクリックします。



6. **「セットアップするフォルダの設定」ダイアログボックスが表示されます。インストール先を確認し、［次へ］をクリックします。**

   インストール先を変更する場合は、「変更」をクリックして、インストールするフォルダを選択してください。

7. **「ショートカットの作成」ダイアログボックスが表示されます。**

   デスクトップにCarryOn Music 10ショートカットを作成する場合は、「デスクトップにショートカットを作成する。」のチェックボックスにチェックを入れます。
   同様に、Windowsのクイック起動にショートカットを作成する場合は、「クイック起動にショートカットを作成する。」のチェックボックスにチェックを入れます。
   ショートカットが必要ない場合は、チェックボックスのチェックを外します。
   初期状態ではどちらのチェックボックスにもチェックが入っています。

   ［次へ］をクリックします。

8. **関連付けするファイル形式を選びます。**

   関連付けしておくと、ミュージックファイルをダブルクリックするだけで、自動的にCarryOn Music 10が起動して、曲の再生が始まるので便利です。

   ［次へ］をクリックします。

9. 「インストール準備の完了」ダイアログボックスが表示されます。

インストールの設定を参照したり変更する場合は「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックすると、ウィザードを終了します。

［インストール］をクリックします。

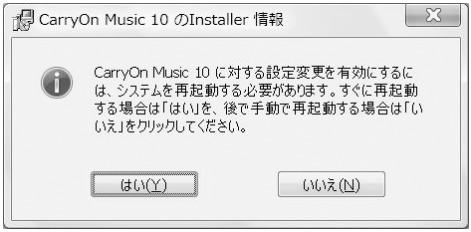
10. インストールが終わると、「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されます。

「Readmeファイルを表示する」のチェックボックスをオンするとCarryOn Music 10のReadmeファイルを表示することができます。

［完了］をクリックします。

11. CarryOn Music 10のInstaller情報が表示されます。

CarryOn Music 10を使用するには、一度パソコンを再起動させる必要があります。すぐに再起動を行う場合は［SE-U55SX CD-ROM］をCDドライブから取り出し「はい」をクリックします。するとパソコンが再起動します。



他に起動中のアプリケーションがある場合にコンピュータを再起動しますと、すべてのアプリケーションが強制終了されます。そのため、作業中のファイルなどがある場合は、「いいえ」をクリックし、［SE-U55SX CD-ROM］をCDドライブから取り出し他のアプリケーションを終了してから再起動してください。

12. パソコンが再起動します。

以上でCarryOn Music 10インストールの終了です。

QuickTimeをインストールする

AACファイルの再生にはQuickTimeをインストールする必要があります。
既にQuickTimeがインストールされているパソコンをお使いの方、AACファイルを再生しない方はこの項目をお読みになる必要はありません。
付属のCD-ROMに収録されている［ソフトウェアのインストール］を起動して、インストールを行います。
起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、セットアップを開始してください。
※以下ではWindows Vistaを前提に説明します。

1. ［SE-U55SX CD-ROM］をCDドライブにセットします。

自動再生ウィンドウが表示されたら、「menu.exeの実行」ボタンを押してください。
menu画面が表示されます。

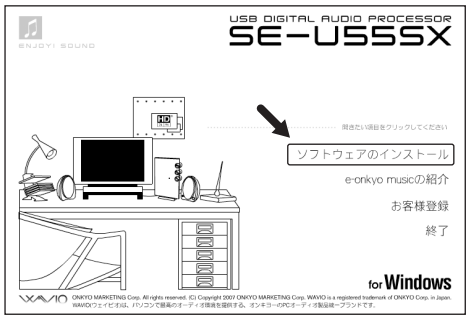
<Windows XPの場合>
自動的に画面が表示されます。
画面が表示されない場合は、次の方法で表示させてください。

- SE-U55SX CD-ROM を開きセットアッププログラムを起動する。

1. Windows のエクスプローラを使って、「SE-U55SX」を開きます。
2. 「menu.exe」アイコンをダブルクリックすると、menu 画面が表示されます。

2. 「ソフトウェアのインストール」をクリックします。

「ソフトウェアのインストール」ダイアログボックスが開きます。

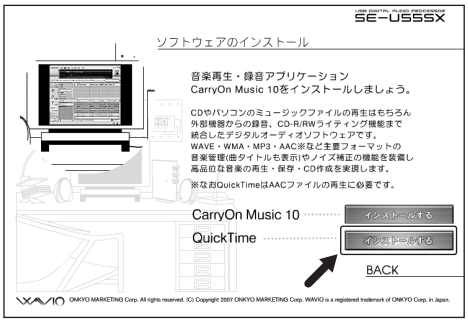


付属のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする

3. 「ソフトウェアのインストール」ダイアログボックスで、［QuickTimeのインストール］をクリックします。

   「ユーザーアカウント制御」が表示されるので「許可」をクリックします。

   ※Windows XPでは「ユーザーアカウント制御」は表示されません。

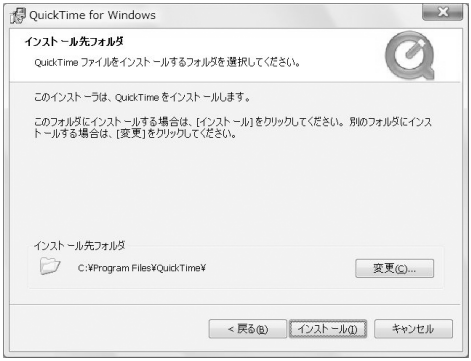


4. 「ようこそ」ダイアログボックスが表示されますので、［次へ］をクリックします。

QuickTime for Windows
ようこそ QuickTime 7 インストーラへ
QuickTime は、コンピュータでデジタルメディアを再生するための、非常に高い評価を受けているアップルのソフトウェアです。QuickTime によって、ビデオ、グラフィックス、音楽、サウンド、スプライト、VR パノラマ、アニメーション、インターネット経由のストリームメディアなど、さまざまな種類のメディアを楽しむことができます。
このウィザードに表示される手順に従って操作すれば、QuickTime Player や QuickTime Web ブラウザプラグイン、および iTunes などのほかのマルチメディア・アプリケーションのために必要な QuickTime システムソフトウェアを簡単にインストールできます。開始するには、[次へ] をクリックしてください。
QuickTime 7.2.0.240
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

5. 「使用許諾契約の確認」ダイアログボックスが表示されますので、内容をよく読み、契約に同意される場合は、［はい］をクリックします。

6. **「セットアップするフォルダの設定」ダイアログボックスが表示されます。インストール先を確認し、［インストール］をクリックします。**



インストール先を変更する場合は、「変更」をクリックして、インストールするフォルダを選択してください。
CarryOn Music 10を使用するうえで「QuickTimeやその他のアップルソフトウェアを自動的に更新」のチェックボックスにチェックを入れる必要はありません。

7. **インストールが終わると、「QuickTime インストーラの完了」画面が表示されます。**

［完了］をクリックします。

インストール完了後QuickTime Proの購入を勧める画面が表示されます。
CarryOn Music 10を使用するうえでQuickTime Proを購入する必要はありません。

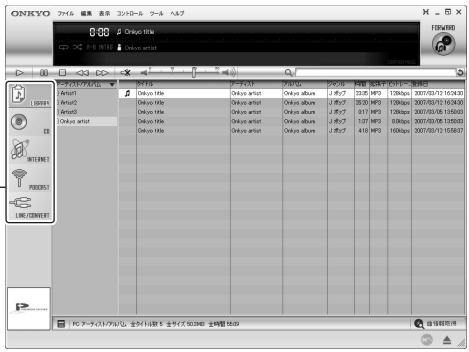
再生のしかた

CarryOn Music（キャリオン・ミュージック）について

- 音楽ファイルの整理や再生、CDの作成など、音楽をまとめてライブラリで管理
- 24ビット/96kHz高品質音楽配信に対応
- レコードやカセットなどアナログ音源からの録音時も楽曲のタイトル取得が可能
- 音楽ファイルを聞きたい順に再生したり、お好みの条件でリストを作成できるプレイリスト機能

CarryOn Musicの設定

1. 本機に付属の「CarryOn Music」を起動します。
   再生したいモードを選択します。



2. メニューバーの［ツール］＞［オプション設定］を選びます。

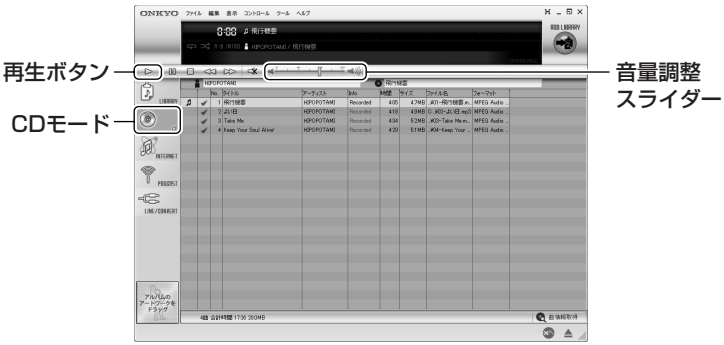
3. 再生デバイスのタブを選択しPlayback deviceをSE-U55SXに設定します。

♪ヒント

Windows Vistaをお使いのかたは34ページをご覧ください。

4. 再生ボタンをクリックすると、再生が始まります。

5. 音量調整スライダーを左右に動かして、音量を調節します。



再生のしかた

＜Windows Vistaで再生を行うときは＞

※ Windows XPをお使いの方はこのページはお読みになる必要はありません。

Windows Vistaでは、SE-U55SXが動作するサンプリング周波数と量子化ビット数を設定できるようになっています。
SE-U55SXが動作するサンプリング周波数と量子化ビット数が、再生するソースのサンプリング周波数と量子化ビット数と合っていない場合、Windows Vistaが自動的にサンプリング周波数と量子化ビット数の変換を行います。
SE-U55SXが動作するサンプリング周波数と量子化ビット数を変更したい時は以下の手順にしたがって、Windows Vistaの設定を行ってください。

「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。

1. **「ハードウェアとサウンド」の中の「オーディオデバイスの管理」をクリックします。**
2. **「オーディオデバイスの管理」ウインドウを開きます。**
3. **「再生」タブを選択します。**
4. **「スピーカー/SE-U55SX」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。**

5. **「詳細」タブを選択します。**
6. **「既定の形式」からサンプリング周波数とビット数を選択します。**
   本機のDigital出力からはここで設定したサンプリング周波数とビット数の信号が出力されます。
   INPUTスイッチがMICの時は「16ビット、48000 Hz」のみ選択できます。
7. **「OK」をクリックして終了します。**

より詳しくは

「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。
また、CarryOn Musicの最新情報についてはこちらをご覧ください。
（http://onkyo.jp/wavio/）

用語解説

MP3（MPEG Audio Layer3）ファイルとは?

音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
Windowsの代表的な音楽ファイル形式WAVEなどと比較すると、ファイル容量が1/10程度に圧縮され、音質もほとんど劣化しないのが特長といわれています。

WAVファイルとは?

Windowsで標準的な音楽ファイルの形式。WAVEファイルと同じ。
音声データをサンプリングして、パソコン用のデータとして保存したファイルのことです。

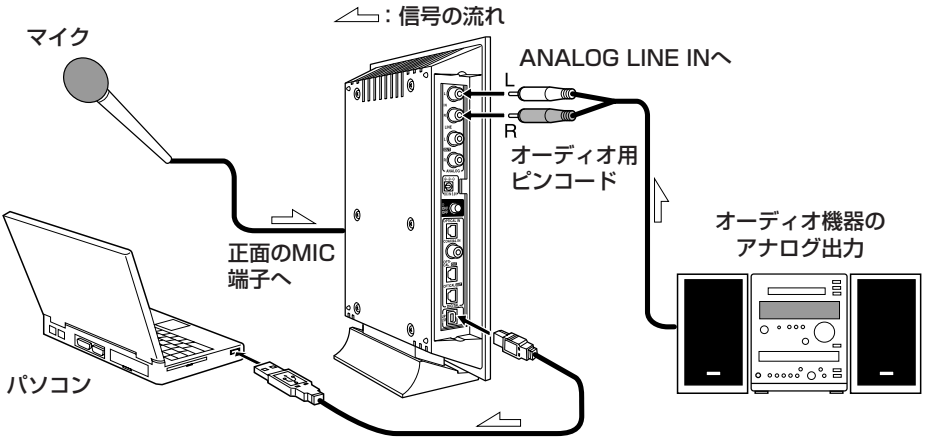
WMA（Windows Media Audio）ファイルとは?

Microsoft社が開発した音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
音楽CDに迫る音質と、デジタル著作権を主張できることが特長になっています。

録音のしかた

※あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

マイクやライン入力のアナログ音声をパソコンに録音する

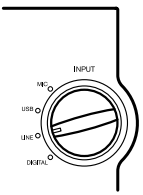


1. **アナログ再生させる機器を図のようにSE-U55SX本体に接続します。**

   レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーを通して接続するか、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーをお使いください。

2. **SE-U55SX本体のINPUTスイッチを録音するソースに合わせ、「LINE」または「MIC」に切り替えます。**

   USBインジケーターが緑色に点灯しているかご確認ください。



ご注意

USBインジケータが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。

ヒント

INPUTスイッチが「MIC」の位置にある場合は、パソコンからの再生とMIC入力からの録音を同時に行うことができます。

3. **本機に付属の「CarryOn Music」を起動し、 LINEパネルを選択します。**

4. **パネル右上の設定ダイアログボタン をクリックし、ライン入力録音タブを選択します。**

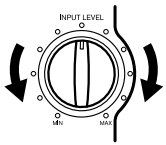
   保存ファイルの項目で、録音したいファイル形式（MP3またはWAVE）などを設定します。

♪ヒント

よりよい音で録音するには、41ページをご覧ください。（Windows Vistaをお使いの場合）

5. **録音ボタンをクリックして、録音待機状態にします。**

6. **試しに録音するソースを再生し、レベルモニタ画面を見ながらINPUT LEVELつまみで録音レベルを調節します。**



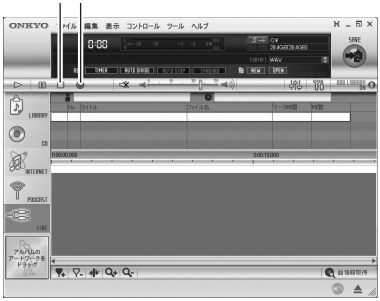
♪ヒント

レベルモニタが振り切れていると音がひずんでしまいます。振り切れるより少し下のレベルまで振れるようにすると、ひずみのない音で録音できます。

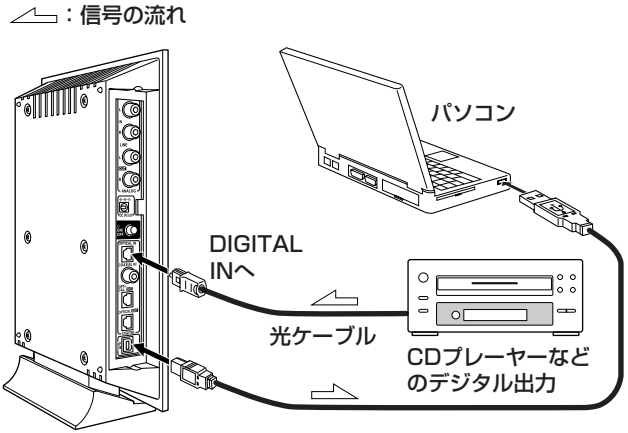
7. **再生または一時停止ボタンをクリックすると録音が開始されます。同時に録音したい音源の再生を行ってください。**

8. **停止ボタンをクリックすると録音が終了します。**

停止ボタン 録音ボタン

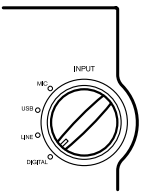


CDやMDのデジタル音声をパソコンに録音する



1. デジタル再生させる機器を図のようにSE-U55SX本体に接続します。

2. SE-U55SX本体のINPUTスイッチを、「DIGITAL」に切り替えます。



USBインジケーターが緑色に点灯しているかご確認ください。
USBインジケーターが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。

本機はデジタルイン・オートセレクター機能を搭載しています。接続された機器の信号を検知して入力を選択します。次の優先順位でデジタル入力が検知されます。

1. 前面パネルのDIGITAL IN
2. 後面パネルのOPTICAL IN
3. 後面パネルのCOAXIAL IN

ご注意

- 接続されている機器が再生してなくても、デジタル信号が出力されていることがあります。この場合、その機器より優先順位の低い端子に接続された機器の音は再生されません。このような場合は、優先順位が高い機器の電源をオフにしてください。
- 著作権保護されたデジタル入力の音声信号は、LINE OUT やヘッドフォン出力からは再生されますが、パソコンへは入力されません。アナログ入力でご利用ください。

3. 本機に付属の「CarryOn Music」を起動し、 LINEパネルを選択します。

4. パネル右上の設定ダイアログボタン をクリックし、ライン入力録音タブを選択します。

保存ファイルの項目で、録音したいファイル形式（MP3またはWAVE）などを設定します。

＜Windows Vistaの場合＞
CarryOn Musicの設定以外に、「オーディオデバイスの管理」を設定する必要があります。41ページをご覧ください。

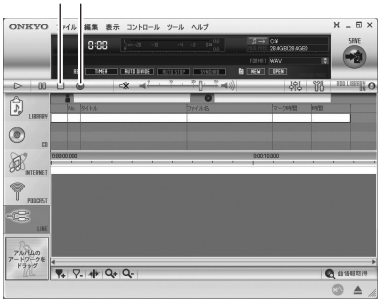
＜Windows XPの場合＞
DIGITAL INに入力されるデジタル信号のサンプリング周波数/ビット数と、CarryOn Musicの設定を同じにする必要があります。CDやMDから録音するときは、一般に44.1kHz、16bit、ステレオに設定してください。

5. 録音ボタンをクリックして、録音待機状態にします。

6. 再生または一時停止ボタンをクリックすると録音が開始されます。同時に録音したい音源の再生を行ってください。

7. 停止ボタンをクリックすると録音が終了します。

停止ボタン 録音ボタン



録音についてのご注意

- 録音中にINPUTスイッチを切り替えないでください。
- INPUTスイッチがDIGITALまたはLINEの場合、パソコンからの音声は出力されません。
- CarryOn Music以外のサウンド編集ソフトによっては、USBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。
- INPUTスイッチがMIC以外で、録音中に同時に再生を行わないでください。また、再生中に録音を開始しないでください。このような操作をすると「USBコントローラの帯域幅の超過」というメッセージが表示され、操作できないことがあります。
- 録音中に「USBコントローラの帯域幅の超過」というメッセージが表示されたときは、34ページの説明に従い、量子化ビット数を「16ビット」に設定してください。

より詳しくは

CarryOn Musicの使い方については、「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。

＜Windows Vistaで録音を行うときは＞

※ Windows XPをお使いの方はこのページはお読みになる必要はありません。

Windows Vistaでは、SE-U55SXが動作するサンプリング周波数と量子化ビット数を設定する必要があります。
SE-U55SXが動作するサンプリング周波数と量子化ビット数が、CarryOn Musicの「保存ファイルの設定」と合っていない場合、Windows Vistaが自動的にサンプリング周波数と量子化ビット数の変換を行います。
しかし、サンプリング周波数や量子化ビット数の変換を行わずに録音したほうが、SE-U55SXの高品質な機能をより生かして録音することができます。
また、デジタル信号を録音する場合、入力信号のサンプリング周波数や量子化ビット数と、SE-U55SXが動作するサンプリング周波数や量子化ビット数を合わせる必要があります。

以下の手順にしたがって、Windows Vistaの設定を行ってください。

「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。

1. **「ハードウェアとサウンド」の中の「オーディオデバイスの管理」をクリックします。**

2. **「オーディオデバイスの管理」ウインドウを開きます。**

3. **「録音」タブを選択します。**

4. **「ライン入力／SE-U55SX」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。**

5. **「詳細」タブを選択します。**

6. **「既定の形式」からサンプリング周波数とビット数を選択します。**

   ＜ライン入力のアナログ音声を録音する場合＞
   CarryOn Musicで保存するファイルのサンプリング周波数と量子化ビット数が同じものを選択します。同じものがない場合は「24ビット、96000 Hz」を選択します。
   ＜マイク入力のアナログ音声を録音する場合＞
   「16ビット、48000 Hz」しか選択できません。そのままの設定でお使いください。
   ＜デジタル音声を録音する場合＞
   入力するデジタル信号と同じサンプリング周波数と量子化ビット数を選択します。サンプリング周波数に同じものがない場合、録音できません。ビット数が違う場合、サンプリング周波数の合ったものの中から24ビットを選んでください。
   ここで選んだサンプリング周波数と量子化ビット数と同じものを、CarryOn Musicの「保存するファイル」のサンプリング周波数と量子化ビット数に設定してください。

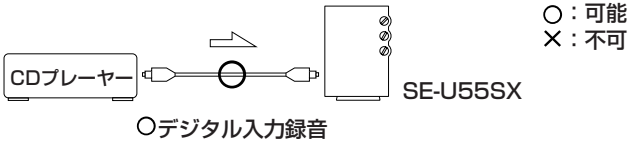
7. **「OK」をクリックして終了します。**

コピーガードシステムについて

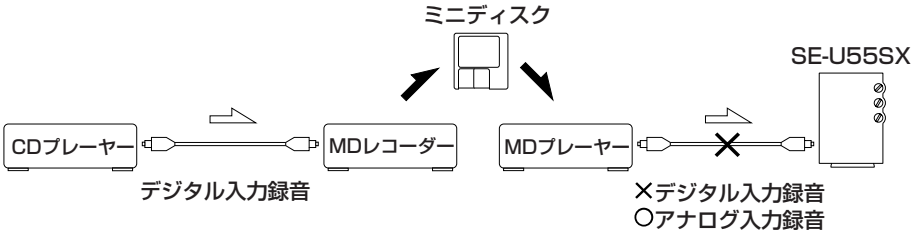
本機はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しています。

- **本機のデジタル出力からSCMS対応のMDやDATなどにデジタル録音できません。**
- **CDやMD、DATなどデジタル信号で音声データを記録しているメディアから本機のデジタル入力端子に直接デジタル信号を入力することができます。**
  ただし、一度デジタル信号からデジタル信号のまま録音された音声データを本機に入力した場合、録音はできません。

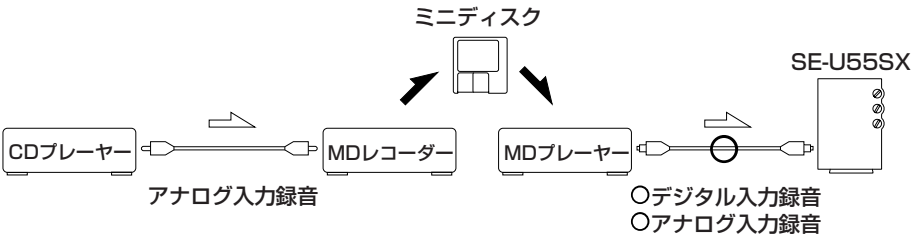
1. CDから直接デジタル信号で入力された音声データは、本機へデジタル入力することができ、録音・モニター出力も可能です。



2. CDからデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、本機へデジタル信号のまま録音することはできません。録音する場合はアナログ信号として入力してください。



3. CDに記録されている音声データを一旦アナログ信号として録音したMDからデジタル信号として本機に入力することは可能です。



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
機器を認識しない。	• 接続が不完全。	• 取扱説明書の「接続する」を参照して、USBケーブルを通じて機器をパソコンに確実に接続してください。
INPUTスイッチを切り替えた時にパソコンが不安定になる。	• 音声出力を行ったまま切り替えを行った。	• INPUTスイッチを切り替える時は、音声出力を停止してください。
音声が出ない。	• ミュートされている。	• ボリュームコントロールを開き、ミュートボタンをクリックして再び音声を出力させます。（☞20ページ）
	• 出力レベルが小さい。	• ボリュームコントロールを開き、ボリュームをすべて最大値に設定します。（☞20ページ）
	• 他の音声出力デバイスが使用されている。	• コントロールパネルから「ハードウェアとサウンド」→「オーディオデバイスの管理」を開き、再生タブで「スピーカー SE-U55SX Audio」にチェックがついているかどうか確認してください。ついていない場合は選択し「規定値に設定」ボタンをクリックしてください。
	• 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• LINE OUT端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。
	• INPUTスイッチが「USB」、「LINE」または「DIGITAL」でパソコンに接続した後、INPUTスイッチを「MIC」で使っている（USBインジケータが点滅している）	• INPUTスイッチを「USB」にしてください。マイクの音声を同時に使いたいときは、INPUTスイッチをMICのまま、電源スイッチを一度オフにして、数秒待ってからオンにしてください（USBインジケータが緑色に点灯します）。
パソコン内蔵スピーカーから音声が出ない。	• USBオーディオデバイスが優先されている。	• USBオーディオデバイスが優先されているため、内蔵スピーカーからは音声が出力されません。内蔵スピーカーから一時的に音声を出力させるためには、本機からUSBケーブルを抜いてください。内蔵スピーカーのご使用後はUSBケーブルを再度接続してください。
ヘッドホンが聞こえない。	• ヘッドホンボリュームが下がっている。	• ヘッドホンレベル調整つまみで音量を調整できます。最適な音量になるようつまみを調整してください。それでも聞こえない場合、「音声が出ない」の項を参照してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。	• ボリュームコントロールを開き、バランスを調整してください。（☞20ページ）
	• 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• 接続している外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。	• システムがCD-ROMドライブからのデジタル音声ストリームに対応していない場合、USB経由ではCD-ROMドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をライン入力に接続し、音量を適当な値に調節してください。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
ゲームのBGMが出力されない。	• BGMにCD出力が使用されている。	• 「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目を参照してください。
マイク音声が入力できない。	• マイクの接続が不完全。	• マイクを確実に接続してください。
	• マイクの適合性に問題がある。	• ミニプラグのマイクをご使用ください。
	• 入力レベルが下がっている。	• INPUT LEVELつまみで入力レベルを調整してください。
	• INPUTスイッチがMICになっていない。	• INPUTスイッチをMICに合わせてください。
ライン音声が入力できない。	• ライン入力の接続が不完全。	• 外部からライン入力（ANALOG LINE IN）に確実に接続してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。
	• 外部機器から音声が出力されていない。	• 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。
	• ライン入力ボリュームが小さい。	• INPUT LEVELつまみを適切な位置に調整してください。
	• レコードプレーヤーを直接接続している。	• レコードプレーヤーを本機に直接接続することはできません。お手持ちのレコードプレーヤーおよびカートリッジに合わせたイコライザーアンプを通して接続してください。
	• INPUTスイッチの設定を間違っている。	• INPUTスイッチをLINEに設定してください。DIGITALでは、LINE OUT、PHONESには出力されますが録音できません。
デジタル出力が外部機器に入力されない。	• 外部機器のサンプリング周波数が適合していない。	• お手持ちの機器の取扱説明書を参照して、出力サンプリング周波数に対応しているかどうかお確かめください。
	• 外部機器との接続に問題がある。	• 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合はケーブルをお確かめください。
パソコンの音声がデジタル出力されない。	• INPUTスイッチの設定違い。	• INPUTスイッチをUSBに設定してください。「デジタル出力が外部機器に入力されない」の項を参照してください。
録音できない。	• 他の音声入力デバイスが使用されている。	• コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開き「録音」の「既定のデバイス」から「USBオーディオデバイス」を選択してください。それでも録音できない時は「既定のデバイスのみを使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。
デジタル出力が外部機器で録音できない。	• 本機のデジタル出力は他機器で録音することができません。	• アナログ録音してください。
デジタル入力信号が録音できない。	• INPUTスイッチの設定違い。	• INPUTスイッチをDIGITALに設定してください。

症状	原因	処置
デジタル入力信号が録音できない。	• 入力信号がコピーガードされている。	• 本機のデジタル入力はコピーガードシステムにより保護されているため、コピー不可に設定されているデジタル信号は録音できません。（☞42ページ）
	• 本機が対応していないサンプリング周波数の信号が入力されている。	• 本機が対応しているサンプリング周波数は、44.1/48/96kHzです。この周波数以外のデジタル信号は録音できません。
	• 外部機器との接続に問題がある。	• 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合は、ケーブルをお確かめください。
	• 入力デジタル信号のサンプリング周波数と量子化ビット数が、本機が動作しているサンプリング周波数と量子化ビット数と一致していない。	• CarryOnMusicとWindowsの設定を、入力デジタル信号に合わせてください。（☞36～41ページ）
マイクの音声が録音できない。	• INPUTスイッチが「MIC」になっていない。	• INPUTスイッチを「MIC」にしてください。
	• INPUTスイッチを「MIC」以外でパソコンに接続した後、INPUTスイッチを「MIC」で使っている（USBインジケータが点滅している）。	• 電源スイッチを一度オフにして、数秒待ってからオンにしてください。（USBインジケータが緑色に点灯します）
音が途切れる。	• 音声出力、入力中に負荷のかかる作業を行っている。	• 特に録音をされる場合には、CPUに負担のかかる作業は控えてください。
	• 音声出力、入力中に他のUSB機器を抜き差しした。	• 音声の再生·録音中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。
	• CPUの処理が再生や録音に追いついていない。	• CPUが推奨スペックを満たしていない場合は、期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でもCPUが非常に高負荷の状態である場合には音が途切れることがあります。この場合は、他のアプリケーションをすべて終了させてください。また、録音の際のエンコード速度やフォーマットを変えて試してみてください。
	• 本機をHUBに接続している	• 本機は24ビット/96kHzに対応しているため、USBバスの帯域を広く使用します。USBケーブルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。
雑音が多い。	• テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	• テレビなどから十分に離して置いてください。
	• マイクから雑音が入力されている。	• マイクから雑音を拾うことがありますので、マイクを使用しないときは、INPUTスイッチをMIC以外に設定してください。
	• 各入出力端子の接続が不完全。	• 本書14ページを参照して確実に接続してください。

製品の故障により、正常に録音ができなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　SE-U55SX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

※SE-U55SX用のお客様登録用シリアルNo.は、本体背面に記載されています。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：

オンキヨーコールセンター
ご購入相談、機能・取り扱い相談窓口

電話番号 ： 050-3161-9555
- 受付時間 ： 月～金曜日　10:00 ～ 18:00
（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）

メールフォームによるお問い合わせ：
http://www.jp.onkyo.com/ から
オンキヨーホームページを開く
↓
▶ サービス・サポートをクリック
↓
「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」をクリックしてください。

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.jp.onkyo.com/
http://onkyo.jp/wavio/
をご参照ください。

主な仕様

形式：	USBデジタルオーディオプロセッサー
接続方式：	USB 1.1
サンプリング周波数	
デジタル入力：	44.1/48/96kHz 対応
デジタル出力：	44.1/48/96kHz
周波数特性：	0.3Hz～44kHz（+0/−0.5dB）
全高調波歪率：	0.002%（20-kHz AES17 LPF、A-Weighted）
SN比：	115dB（20-kHz AES17 LPF、A-Weighted）
ライン出力レベル：	2.0Vrms
ライン入力レベル：	200mVrms
マイク入力感度：	5.0mVrms
音声入力：	デジタル3（光2、同軸1）、アナログ1、マイク1
音声出力：	デジタル2（光2）、アナログ1、ヘッドホン1
電源*：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	3.8W
外形寸法（幅×高さ×奥行）：	169×244×67mm
質量：	0.7kg

*印は付属の電源アダプター（IU15-2050100-WP）使用時

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　年　月　日

ご購入店名：

Tel.　　(　)

メモ：

オンキヨーマーケティング株式会社

販売元　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00～18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/
http://onkyo.jp/wavio/

Printed in Japan
D0710-1

SN 29344516

(C) Copyright 2007 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.

29344516